

タイトル

『汐製菓会社の新作㊦ビスケット㊦』

シーン：汐の奇妙なアイデア

場所：汐製菓会社のオフィス

時間：午前中

登場人物：汐、塩田

（汐がオフィスのホワイトボードにアイデアを書き込んでいる。塩田が資料を整理している。）

汐

（エネルギーッシュに）「さあ、みんな、次の新商品が決まりました！」

塩田

(目を上げて)「また新しいアイデアですか？今度はどんな商品ですか？」

汐

「ビスケットだ！しかも、チキンカレー味！」

塩田

(驚きながら)「チキンカレー味…ビスケットに？」

汐

「そうだ！どうだ、ワクワクするだろう？甘くてスパイシー、ちょっとユニークな体験だ！」

塩田

「でも…ビスケットにカレー味って…」

汐

「これが面白いんだよ！想像してみて、他にはない味だよ！」

塩田

（ため息をつきながら）「社長、また奇抜なアイデアですね…」

汐

「いいじゃないか、面白いことがしたいんだよ！」

塩田、君も試食してみてよ！」

塩田

（困惑しながら）「まだ試作もできていないのに…」

汐

「それが楽しみなんだよ。きっと面白い反応があるはずさ！」

シーン②: ジョージの大興奮

場所… 汐製菓会社のオフィス

時間… 午後

登場人物… 汐、塩田、ジョージ

（ジョージがオフィスに入ってきて、興奮している。）

ジョージ

「へい、チーム！新商品は何だ？ビッグニュースがあるって聞いたよ！」

汐

（嬉しそうに）「ジョージ！ちようどいいところに来た。次の新商品はチキンカレー味のビスケットだ！」

ジョージ

（目を輝かせて）「わお！チキンカレー味のビスケット？それはビッグビジネスになるよ！アメリカでも大人気間違いなし！」

塩田

（困惑しながら）「ジョージさん、本当にその

アイディアで大丈夫ですか？チキンカレー味っ
て…」

ジョージ

「もちろん！アメリカ人はカレーが大好きだし、ビスケットも大好き。これが組み合わせると、すごいことになるよ…」

塩田

「でも、チキンカレーとビスケットって…」

ジョージ

「Think about it! It,s unique and exciting.
It,s going to make a splash!」

汐

「そうだろう？ジョージの言う通りだ！」

塩田

（心の中で）「本当に大丈夫なのか…」

汐

「ジョージ、塩田が心配してるけど、君の意見を聞かせてあげてよ！」

ジョージ

「Sure!」これで市場に新しい風を吹き込もうー！」

シーン③: 試作品開発と試食会

場所… 汐製菓会社の試作室

時間… 数週間後

登場人物… 汐、塩田、ジョージ、リー

(試作室で試作品のビスケットがテーブルに並べられている。)

汐

「さあ、みんな、試食の時間だ！」

塩田

（ビスケットを一口食べて）「うーん…チキンカレー味ですね。でも、ちょっと…」

ジョージ

「デリシャス！これはまさに市場に必要なものだよ！」

リー

（冷静に）「これは…賛否が分かれるでしょう。カレー味のビスケットは珍しいですが、受け入れられるかどうか…」

塩田

（苦笑しながら）「まあ、確かに面白い味ですが…」

ジョージ

「見て！アメリカ人にとってこれは大ヒットだよ！」

リー

（試食しながら）「…やっぱり、どうしてビスケットにカレー味を？」

汐

（自信満々に）「それが面白いんだよ！少し勇気があるけど、挑戦してみる価値はある！」

塩田

（困惑しながら）「でも、これが成功するかどうかは分かりませんよ…」

リー

「どんな結果になるかは分かりませんが、挑戦する価値はあるかもしれませんね。」

ジョージ

「Right! Let's make this a game-changer!」

汐

「その意気だ！」

シーン④ 発売準備とマーケティング戦略

場所… 汐製菓会社の会議室

時間… 数日後

登場人物… 汐、塩田、ジョージ、リー

（会議室でマーケティング戦略の会議が行われている。）

ジョージ

「ビッグプロモーションが必要だね！どうだろう、花火と大きな旗を背景にしたCMは？」

塩田

「それはちょっと…派手すぎませんか？もっと落ち着いたプロモーションがいいかと…」

汐

「面白くなければ意味がない！ジョージの案を試してみよう！」

リー

（冷静に）「それは…かなりリスクですね。でも、何か目立つことをしないと。」

ジョージ

「その調子！これが大きなインパクトを与えるよー！」

塩田

「でも、社長の案はちょっと…」

汐

「いいじゃないか！このビスケットにはそれくらいのインパクトが必要だ！」

リー

「確かに、ユニークさが重要ですね。」

ジョージ

「Exactly! Let's make this launch unforgettable!」

塩田

（ため息をつきながら）「まあ、仕方ないですね。」

シーン5: 発売とその反応

場所… 汐製菓会社のオフィス、店舗

時間… 発売日

登場人物… 汐、塩田、ジョージ、リー

（店舗で「チキンカレー味ビスケット」が並んでいる。オフィスではニュースやSNSの反応を見守る。）

ニュースキャスター

「本日発売の汐製菓の新商品『ビスケットωチキンカレー味』が話題になっています。賛否が分かれる中、売上は好調です！」

汐

（喜びながら）「見たか！やっぱり俺の直感が正しかった！」

塩田

（驚きながら）「こんなに売れるなんて、本当にびっくりです…！」

ジョージ

「ほらね！これが大ヒットなんだよ！」

リー

（冷静に）「意外な結果ですが、やはり何がヒットするかは分からないものですね。」

塩田

（困惑しながら）「これで次はどんなアイデアになるのか…」

シーンの② 次なる企画

場所… 汐製菓会社のオフィス

時間… 一週間後

登場人物… 汐、塩田、ジョージ、リー

（汐が次のアイデアを発表する。）

汐

「さて、次は…ピザ味のビスケットだ！」

塩田

（全員が一斉に驚く）「えええー！？」

ジョージ

「わお、それもすごいアイデアだね！また大きなチャンスがあるよ！」

リー

「また…異常なアイデアですね。どうなることやら。」

塩田

（ため息をつきながら）「また新たな挑戦ですね…」

汐

（豪快に笑いながら）「そうだ！次も面白いこと！」

エンディング

場所… 汐製菓会社のオフィス

時間… 夜

登場人物… 汐、塩田、ジョージ、リー

(汐がスタッフたちと共に乾杯をしている。)

汐

「皆、今日もありがとう！ 次の挑戦も楽しみだね！」

塩田

(苦笑しながら)「社長、またすごいアイデアが待っているんですね…」

ジョージ

「Absolutely! 次もビッグなサプライズが待っているよ…」

リー

(冷静に)「それでは、次の冒険に向けて。何が起こるか、楽しみにしています。」

汐

「その意気だ！面白いことが続くよ！」

(**スタッフたちが笑顔で乾杯するシーンで、シナリオが終了する。